

小腸カプセル内視鏡検査のご案内

検査の流れ

- 検査前日の夕食は午後9時までに繊維質の少ない消化のよいものを食べてください。
飲酒は控えてください。
- トマトやパプリカなど赤い皮のある野菜は、残渣（食べかす）が病気に見えることがありますので避けてください。
- 当日午前7時位までは、のどの渇きを取る程度の飲水はかまいませんが、透明な水かお湯のみにしてください。当日午前7時以降はなるべく飲水も控えてください。（摂取した水分が多い場合や色がついた飲み物を飲んだ場合、検査が十分にできないことがあります）
- 検査開始後は激しい運動や機械が外れてしまうような行動はできませんが、それ以外の日常生活は可能です。また、ずっと寝ていたり、座っていたり同一体位の時間が長いとカプセルの進みが悪くなりますので、なるべく歩くようにしてください。
- 検査中はMRIの機械には近づかないでください。また、低周波治療や高周波治療は受けないで下さい。
- 検査開始後2時間経過したら水かお湯は飲んでも構いません。
- 検査開始4時間後からは、うどんなど軽い食事が可能となりますが、亀背（背中が曲がった方）やあまり歩いたりすることができない方はカプセルの通過に時間がかかることがありますので、更に1～2時間食事を遅らせて頂いた方が良好な検査結果が得られる可能性があります。午後6時以降の夕食からは、普通に食べてかまいません。
- 撮影中は受信機（レコーダー）の青ランプが点滅しています（約13～15時間）。カプセルが排便で排出しない限りは外さないでください。
- ランプがオレンジ色の点滅に変わるか、消えていたら検査は終了です。サスペンダーのマジックテープをはがし、体に貼ってあるテープをはがしてください。
- そのまま紙袋などに入れて翌日の午前中に内視鏡室(B棟3階)に備品一式を返却してください。

内服薬（主治医が判断して指示をいたします）

- 鉄剤や粘膜被覆薬剤（アルサルミン、ガストローム、マルファなど）は可能であれば検査の1週間前から中止してください。
（あなたが1週間前から中止するお薬：）
- 検査当日の朝の内服薬は指示されたお薬は6時に内服してください。
（あなたが6時に内服するお薬：）
- それ以外の内服薬は食事可能な時間（4時間後）になってから内服してください。
- 検査当日にCaブロッカーはカプセルの排出を遅らせるので基本的には内服しないでください。
（あなたが検査当日中止するお薬：）

検査当日の服装（外来患者さん）

- 検査中は受信機（レコーダー）を腰につけて歩きますので、機械が隠せるようにジャケットなど上に羽織る大きめの服を着て来院されることをおすすめします。（特に夏場は忘れず持参してください）。また、ワンピースや作業着など上下がつながった服装は避けることをおすすめします。